

研究員 報告①

伊予の遍路道ガイドブック 発刊(予定)のお知らせ

研究員 玉矢 啓介

四国の春は遍路の鈴の音から始まる」と言われるほど、四国4県では八十八ヶ所を巡るお遍路が盛んで、お接待など独特の地域文化を育んできました。

また、平成26年が四国遍路開創1200年に当る年であったことから、四国各地で記念行事が催され、遍路をする人も増えたようです。また、平成27年には、四国遍路が日本遺産に認定され、さらに全国の注目を浴びたところです。こうした動きの中から、四国遍路道文化を世界遺産にしようという気運が盛り

上がってきており、官民を挙げて世界遺産化に向けた活動が行われるようになってきました。

こうした中、えひめ地域政策研究センターでは、県教育委員会の文化財保護課の委託で、遍路道の世界遺産化に向けて遍路道沿いの名勝指定候補地の現地調査のために県内の各札所を訪れる機会があり、各札所で撮影した風景やお遍路さんの写真の数がある程度まとまったことから、これを整理してとりまとめ、ガイドブックとして編集することとしました。

ガイドブックは「伊予の遍路道ガイドブック」と題し、B5カラー判、約60ページで、4月下旬頃に発行を予定しています。

県内の特に若い方に興味を持っていたきたいという想いで現在編集作業を行っており、本書により遍路道を歩いてみようという人が少しでも増えることにより、遍路道文化の世界遺産化への気運の盛り上げの一助となれば幸いです。

